

②社会人等を対象とした履修証明プログラムや講座等について（1 ページ以内）

○ 複数の履修証明プログラムや講座等を構想する場合は、プログラムごとに②を作成してください。

人間福祉学部・看護学部の連携教育プログラムにおいて、社会人を対象にした履修証明プログラムを下記の通り構想している。なお、令和4年度に関係団体と熟議のうえ、令和6年度からの開設に向けて、令和5年度の職業実践力育成プログラム（BP）認定審査へ申請することを検討する。

【履修証明プログラムや講座等の名称】 DX ヒューマンサービス士

【目的】 教育・保健・医療（看護）・福祉分野における諸課題を組織の内部から理解したうえで、DXを活用して課題解決の方策を計画し、他機関との協働により組織の変革を担う資質を身につけた専門職を育成する。

【総時間数】 105 時間（12 ヶ月）

【履修資格】 教育・保健・医療（看護）・福祉分野において3年以上従事し、現在も勤務している者

【定員】 10 名

【内容・授業の方法】

「データマイニングと知識発見」は、看護や保育に関する記録、子どものバイタルサインや保育記録、学習ログ等の膨大なデータから傾向や関連を統計学的検定により解析し、予測と制御に必要な知識・技能を身につける。「ベーシック DX」は、組織変革に向けてクラウドやモビリティ、ビッグデータ、ソーシャルワーク等を活用するために必要な知識・技能を身につける。「福祉看護の DX」は、国内の福祉工学を活用した支援実践を現地視察する。「エスノグラフィー」は、教育・保健・医療（看護）・福祉の現場に訪問し、参与するなかで観察した組織風土や文化、組織成員間の力動、行動様式等を調査レポートに取りまとめ発表する。「ヒューマンサービス組織経営論」では、現場における組織経営に関する基本的な知識を教授した後に、教育・保健・医療（看護）・福祉分野において社会福祉法人や NPO 法人を運営している経営者から組織経営の理念や手法の事例を紹介する。「ヒューマンサービスの現場変革」は、福祉看護以外の分野において現場変革を牽引してきたリーダーから変革過程におけるボトルネックと解決を紹介し、他分野の現場変革から福祉看護分野への応用可能性を探索する。「地域社会の Development Goals とアクティビティ」は、SDGs の目標達成に向けて山梨県内の企業の取り組みを知り、自身の分野への適応を図る。

なお、これらは現場で働く社会人が履修しやすいよう、科目の特性に応じて極力ハイフレックス型の授業形態を取り入れるとともに、開講する時間帯や曜日も考慮して検討を行っていく。

【授業科目一覧】

No.	授業科目名	開設学科等	受講形態	履修年次	単位数	新設/既存	備考※開設する大学名等について記載願います。
1	データマイニングと知識発見	連携開設科目	講義	1	1	新設	山梨大学
2	ベーシック DX	連携開設科目	講義	2	1	新設	山梨大学
3	福祉看護の DX	福祉コミュニティ学科	演習	2	1	新設	山梨県立大学
4	エスノグラフィー	人間形成学科	演習	2	1	新設	山梨県立大学
5	ヒューマンサービス組織経営論	福祉コミュニティ学科	演習	2	1	新設	山梨県立大学
6	ヒューマンサービスの現場変革	看護学部	演習	3	1	新設	山梨県立大学
7	地域社会の Development Goals とアクティビティ	看護学部	講義	3	1	新設	山梨県立大学

【修了要件】 上記の授業科目一覧に記した科目を履修・修得した社会人に対して、県立大から「DX ヒューマンサービス士」の称号を授与し、履修証明書を交付する。